

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会
社会水文学小委員会
(第25期・第3回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年5月13日(金) 15:00~17:00

2. 会 場 遠隔会議

3. 議 題

(1) 前回議事録の確認

✓ 前回議事録の確認を行った。

(2) 檜山委員からの研究報告

- ✓ 檜山委員から「温暖化(永久凍土荒廃・水環境変化)に対するシベリア社会の認識と適応~学際・超学際研究と社会水文学的展望~」と題してテーマ5に関する報告があり、内容について議論を行なった。
- ✓ 議論では、貧困等の経済的な属性による認識の差異、記憶の時間軸、長期的な記憶の継承の数値化の方法、モンゴルにおける永久凍土の影響等について意見が出た。
- ✓ 中でも、記憶等を数値化することの意味や意義に関する議論があり、質的な情報と定量的な情報・データとの接続、インターフェイスとしてモデルの可能性等、数値化に関する課題や認識は今後重要な議論のテーマとなることが確認された。

(3) 小森委員からの研究報告

- ✓ 小森委員から「社会水文学と脆弱性解析の展開」と題してテーマ2とテーマ4に関した洪水リスク管理(超越的価値観)と社会水文学、洪水と社会水文学、農業リスクと社会水文学といった内容について報告があり議論を行なった。
- ✓ 議論では、超越的価値観に関するその定義やその研究の文脈について活発な意見交換があった。また、日本にも世界的な社会水文学に関する事例や研究の膨大な蓄積があるものの、それが英語で世界に発信されていないことが課題であり、逆にいうと日本の大きな可能性であるとの意見があった。
- ✓ パラダイムシフトの対象やそのスケールに関する質問があり、日本あるいは社会水文学におけるパラダイムシフトの定義や研究としての課題を検討することは今後の議論のテーマの一つになることが確認された。

(4) その他

✓ 特になし

4. 配布資料：なし

以上